

とみしのさと

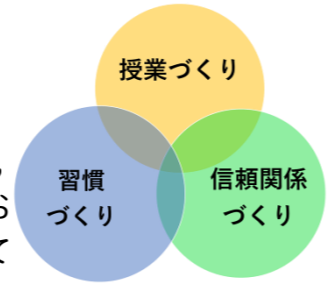
三次市立吉舎小学校だより

発行日 令和4年3月22日(火)
文責 校長 長手麻美

学校教育目標 「自ら学び、考え、自立した行動ができる『きさ』の子どもの育成」
～真剣(主体的な学び・深い学び)に学び、人を大切にする児童の育成～

おめでとう ありがとう

～6年生を送る会～



春の陽気が気持ちも明るくしてくれます。一方で、春は別れの季節です。成長した6年生が明日、吉舎小学校を卒業します。卒業式はコロナ禍により、保護者の皆さんと5年生のみの参加で実施することとしました。晴れの姿をお世話になった全ての方々に見ていただけないのは残念ですが、この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。卒業式に先立ち、全校で「6年生を送る会」を実施しました。



6年生入場 手作りの飾りが温かく迎えます。



新執行部の初の大仕事 企画・準備・進行…いい会になりました!



1年生「ありがとうレンジャー」のよびかけと歌。かわいかったです!



2年生「紅蓮華」のポディーパークッションと歌。そろってたね。



3年生「山の芋ファミリーとゆかいな仲間たち」6年生も懐かしかったことでしょう。



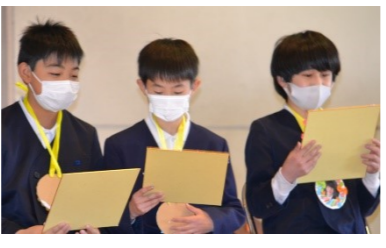
4年生 振付きの歌と6年生一人一人へのメッセージ。心がこもっていました。



5年生「6年生誰でしょうクイズ」一人一人のことを思い出す機会になりました。



6年生「木星」の合奏 さすが6年生とを感じる演奏を聴かせてくれました。



各学年からの出し物やプレゼントのメダル、一人一人の思いのこもった色紙を、楽しそうに愛おしそうに見ている6年生の表情や反応が、「6年生を送る会」をより心温まるものにしてくれました。素直に表現できる6年生に成長も感じました。

1年生～5年生は、児童会執行部の呼びかけに、時間を見つけては、出し物の練習、飾りつけやプレゼントの準備をしてきました。その時間が6年生との思い出をより鮮明にしたのではないのでしょうか。心から6年生に「おめでとう!ありがとう!」と言える温かい会となりました。

地域で学ぶ

～今年度も1年間お世話になりました～

3年生「山の芋感謝の会」

「山の芋学習」の最後は、収穫した山の芋を、ありがたくいただきました。三次JA吉舎支所、女性部の皆さんの指導の下、「山の芋スープ」を楽しく調理しました。コロナ禍のため山の芋スープのみとなりましたが、1年をかけて成長に関わった山の芋の味は、3年生にとって格別のものになりました。



5年生「受け継ごう!広めよう!日本の食～感謝の会～」

金友さんの田んぼをお借りして、田植え・稲刈りと体験してきた5年生。収穫したお米を三次JA吉舎支所さんが精米してくださいました。そのお米を使って、女性部さんにも指導いただきおにぎりを作りました。「青のり塩」「サクラエビ塩」「タラコ塩」3種類の香り塩も調理してトッピング。お米のおいしさをより感じる事ができました。お世話になった金友さんをご招待できなかったことを5年生も残念がっていました。本当にありがとうございました。



6年生「職業発見!」「茶道体験」

6年生の希望と、実際に参加できる方々の調整の結果、「建設業」「スポーツ店経営」「美容師」「保育士」の4つの職業に携わっておられる方にインタビューをさせていただきました。4人の方々は、6年生の質問に真摯に答えてくださいました。そのことが仕事に向き合う姿勢とも合わさって、6年生の心に響き、働くことの素晴らしさに触れる体験となりました。



地域の方から、「お茶」のお手前について教えていただきました。掛け軸やお花を用意するところからおもてなしが始まることも、学びました。

